

報告事項 指定ごみ袋重量調査の結果について

調査目的

本市は、家庭ごみ有料化事業を実施から現在まで、環境省が示す比重「0.3」を長年採用してきた。令和4年11月2日（水）に開催された令和4年度第3回鳥取市環境審議会において、長期間かけて定期的に可燃ごみ袋（大）の重量を計測し、次回料金改定時のサンプルとすることを市の方針としたことから、夏季と冬季の年2回、同一ごみステーションで実施する。

調査日時

1回目 令和5年10月17日（火） 9：00 ～ 9：20
2回目 令和6年 2月13日（火） 9：00 ～ 9：15

調査方法

鳥取市吉成二丁目のごみステーションで年2回「可燃ごみ袋（大）」の重量を計測



調査結果

調査日	袋数（大/中/小/極小/全体）	最軽量（kg）	最重量（kg）	平均（kg）
10/17	27 /22/7/5/61	1.5	15.5	5.9
2/13	18 /20/7/3/48	2.9	18.7	6.0

- ①排出重量 水分を含む物が多い場合と、軽い物を少量で排出した場合の重量差
⇒ 最重量18.7kgに対し最軽量は1.5kgであり、17.5kgの差
- ②排出状況 全体的に夏季と比較し、冬季は排出量（ごみ袋の数量）が少ない
- ③袋の適正 「大」と「中」は余裕があり、「小」と「極小」は目一杯の状態
⇒ 袋の規格を下げても排出することで適正重量に近い排出となる